

歌舞伎の魅力、教えます！

伝統芸能がもっと楽しくなる、1日かぎりの学校のような公演です。
 今回は、日本舞踊を通して歌舞伎の“動き”を体験します。

歌舞伎とは？

今から約400年前の江戸時代に成立した、音楽・踊り・芝居が一つになった日本の伝統芸能です。
 2008年（平成20年）には、ユネスコの無形文化遺産に登録されています。

内容

長唄・日本舞踊について知ろう

歌舞伎とも深い関係のある長唄・日本舞踊について、唄や三味線、
 日本舞踊家の実演を交えながら解説します。

身体の動き一つで、どんなものにも“変身”できちゃうかも！？

みんなで体験！「歌舞伎体操」

歌舞伎の所作（動き）を取り入れた「歌舞伎体操」を体験します。

（日本舞踊体験付チケットをご購入の方は、舞台上で体験していただきます。）

邦楽と日本舞踊のコラボレーション

伝統芸能スコラ「かぶきを楽しもう～日本舞踊編～」のために特別に作られた
 邦楽と日本舞踊のコラボレーション舞台を鑑賞します。

令和5年 8月19日（土）開演14:00
 （開場13:00）
 青葉の森公園芸術文化ホール

全席自由 13時より座席引き換えを行ないます。

一般 1,500円（日本舞踊体験付2,000円）

高校生以下 500円（日本舞踊体験付1,000円）

3歳未満無料

※日本舞踊体験付チケットは、青葉の森公園芸術文化ホールのみの販売となります。

※日本舞踊体験付チケットをご購入の方は、舞台上で日本舞踊体験をしていただきます。
 （交替制）

プレイガイド

青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511
 千葉県東総文化会館 0479-64-2001
 千葉県南総文化ホール 0470-22-1811
 インターネット予約 <https://www.cbs.or.jp/aoba/>

家族みんなで
 楽しめる！

0歳からご入場
 いただけます。

※「スコラ」とはラテン語で「学校」という意味です。

伝統芸能スコラ
 かぶきを楽しもう

にほんぶようへん
 日本舞踊編

出演
 鳳聲晴久
 （邦楽囃子方）
 他



主催



公益財団法人
 千葉県文化振興財団

お問合せ

青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

後援

千葉県 千葉市教育委員会 市原市教育委員会 習志野市教育委員会 八千代市教育委員会 佐倉市教育委員会
 四街道市教育委員会 八街市教育委員会 東金市教育委員会 大網白里市教育委員会 茂原市教育委員会

助成



文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業（地域の中核劇場・音楽堂等活性化）

文化庁

独立行政法人日本芸術文化振興会

出演者紹介

囃子方・長唄方

鳳聲晴久（ほうせい はるひさ）

千葉県佐倉市出身。東京芸術大学邦楽科卒。9歳で大叔父の西村尚己に祭囃子の手ほどきを受け、15歳で国指定重要無形民俗文化財「江戸里神楽」若山流4世家元若山胤雄（わかやま・たねお）師に祭囃子、神楽囃子を師事。18歳で邦楽囃子笛方の名手として知られる鳳聲流分家家元、鳳聲晴雄師（若山胤雄師の邦楽における芸名）に長唄囃子を師事。2004年鳳聲晴久の名を許される。

長唄の囃子および神楽や祭囃子の笛の演奏家として活躍中。またジャズとのセッションや、芸大時代に萩森英明（ピアノ）・多井智紀（チェロ）・石渡大介（竹笛）で結成した、チェンバーオーケストラ「Eki-ben LIVE」公演では、オリジナル曲を中心に実験的な音作りに挑み続けている。2012年からは新潟市の依頼で廃絶した「角兵衛獅子」囃子の復元に着手し、地域の演奏家を育成するなど演奏・研究・教育など様々な分野で多面的な才能を発揮している。2020年Sine termino Antiqua Consulere 2020配信リリース。

映像版<https://vimeo.com/ondemand/consulere2020> 音源版<https://linkco.re/bhGhZt6Y>

堅田喜三郎（かただ きさぶろう）

東京都出身。邦楽囃子演奏家。幼少より祖父である4代目堅田喜三郎に手ほどきを受け、青山学院大学卒業後、堅田新十郎に師事、人間国宝堅田喜三久師のもとで本格的に演奏活動を始め、2004年5代目堅田喜三郎を襲名する。

現在、舞踊公演、NHKテレビ、ラジオ出演、海外公演、志の輔らくごINパルコ、フラメンコとの共演、日本フィルハーモニー交響楽団の演奏に参加等、様々な演奏活動を行っている。長唄協会会員、若獅子会同人。

杵屋和吉（きねや わきち）

長唄唄方。杵屋和四蔵の三男。6代目杵屋勝五郎師に唄の手ほどきを受けたのち東音宮田哲男師（芸術院会員・重要無形文化財保持者）に唄方としての本格的な指導を受ける。杵屋勝国師（重要無形文化財保持者）に三味線を師事。演奏会、歌舞伎公演、舞踊会を中心に活動。第66回文化庁芸術祭大賞を受賞。第40回伝統文化ポーラ賞奨励賞受賞。2022年9月7代目杵屋和吉を襲名。一般財団法人杵勝会理事、一般社団法人長唄協会会員。学校法人八坂祇園女紅場学園祇園女子技芸学校講師。エコール・ブチエ銀座講師。「長唄伯聲會」「樂舎」「としみつの会」主宰。

杵屋勝国悠（きねや かつくにはる）

杵屋勝勢諷、杵屋勝国に師事。2009年東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。2013年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。平2010年4月歌舞伎座さよなら公演 三人連獅子において初舞台。坂東玉三郎丈・市川海老蔵丈などの歌舞伎公演、舞踊会、演奏会、NHK放送、また海外公演等に出演。上妻宏光アルバム「伝統と革新-起-」、米津玄師「パプリカ」に参加。

日本舞踊家

藤間翔（ふじま かける）

幼少より、祖母・紫派藤間流家元・初世藤間紫に師事。9歳で歌舞伎座にて祖母と共演、初舞台を踏む。その後、歌舞伎「勅進帳」太刀持ち（弁慶・現 市川右團次、富樫・市川猿弥）義太夫「小鍛冶」稻荷明神（勅使・初世 藤間紫、宗近・現 市川右團次）、長唄「連獅子」仔獅子（親獅子・市川猿弥）など多くの古典作品を務める。2006年～2010年までジャニーズ事務所に在籍。2010年日本大学芸術学部演劇学科企画制作コースに入学と同時に学業に専念。2014年卒業。翌年11月琳派四百年記念祭・朗読劇「風神雷神図」に素庵の息子・玄紀で出演。（片岡愛之助 中村杏太郎 辰巳琢郎と共演）2018年11月より奉納舞台「一粒萬倍」国生みの神・イザナギを長年務めている。2022年サントリーホール大ホールでの特別公演でスサノオも務めた。2019年2月より、わかもと製菓「アレジフェンス」のCMに出演。2020年4月より劇団ひまわり日本舞踊講師を務める。2021年、初代藤間翔（かける）を襲名する。カルチャースクールやワークショップの講師も務めるほか、世界に日本文化・日本舞踊を広く伝えるため、海外公演にも参加。祖父・2代目藤間紫（現 市川猿翁）に師事。

藤間掬美奈（ふじま きくみな）

6歳より日本舞踊を始め、「菊づくし」にて初舞台。8歳より10年間、野口翠子バレエスタジオにてバレエを学ぶ。中学校時代には新体操部に所属し、県大会6位入賞。津田塾大学在学時にALL一橋競技ダンス部に所属。学生競技ダンス選手権『松前杯2位』・『東部一部戦3位』など多数受賞。大学時代に藤間掬穂師と出会い、卒業後に千葉銀行に勤務しながら、本格的に日本舞踊を学び、2008年に師範を取得。2009年5月に「京鹿子娘道成寺」にて師範名披露目。

花川花蝶（はなかわ かちょう）

國學院大學文学部日本文学科伝承文学専攻卒業。1986年より680回の舞踊まつり開催実績のある老舗舞踊団体葵舞踊振興協会の理事長を祖母に持つ。3歳より日本舞踊を習い始め、5歳より花川流6世家元 花川蝶十郎に師事、17歳日本舞踊花川流の名取となり花川花蝶となる。5歳から国立劇場大劇場や浅草公会堂での舞台に毎年出演、日本の伝統文化の素晴らしさを若い世代にも発信している。

【青葉の森公園芸術文化ホール 交通案内】

JR千葉駅東口より ・2番のりば 星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
・7番のりば 「中央博物館」 徒歩約10分

JR蘇我駅東口より ・2番のりば 大学病院行「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分

京成千原線千葉寺駅より ・徒歩 約15分

